

2025.12.6(sat) – 26.1.12(mon)

| 開館時間 | 9:00–17:00(入館は16:30まで)

| 休館日 | 月曜日および年末年始(12月29日–1月1日)

※ただし1月12日(月・祝)は開館し、翌日休館

| 会場 | 豊橋市二川宿本陣資料館

| 主催 | 豊橋市二川宿本陣資料館

写真/稲田文彦《雉子芍薬図・孔雀牡丹図》(部分)1885 豊橋市美術館蔵

収蔵品展

花鳥画

| 観覧料 | 一般400円(320円)

小中高生100円(80円)

市内在住の70歳以上100円(80円)

四季の草花と動物たち

- ()内は30名以上の団体料金および前売り料金、市内在住の70歳以上は団体のみ。
- 前売券は購入した翌日から使用でき、当館のほか市役所じょうほうひろば、豊橋市美術館で販売しています。
- 市内在住の70歳以上の方は身分証明書をご提示ください。
- ほの国こどもパスポートをお持ちの小中学生は無料です。
- 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料です(ミライロIDが使用できます)。

豊橋市二川宿本陣資料館

441-3155 豊橋市二川町字中町65

TEL.0532-41-8580 <https://futagawa-honjin.jp>



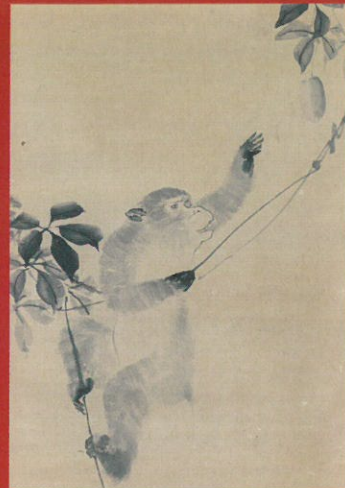
1



2



3



4



収蔵品展

花鳥画

四季の草花と動物たち

季節を彩る花や草木、鳥をはじめとする動物を描く花鳥画は、山水や人物とともに東洋画を代表する画題です。二川宿本陣馬場家には宿泊した大名から贈られた御用絵師が描いた鶴図や、春景と秋景の間を飛ぶ雀たちを大画面に描いた群雀図屏風などが残されていました。おめでたいとされる鶴の画は正月の床の間を飾り、屏風は四季を通じて大きな空間を仕切って使うときに利用されたのでしょう。また、商家駒屋田村家の幕末から明治にかけての当主幹梶は、田原藩の渡辺小華に花鳥画を学んでいます。本展では豊橋市美術博物館と当館の所蔵品のなかから、当地域の画家が描いた作品を中心に花鳥画の世界を紹介いたします。

5



ギャラリートーク 12.20(土) 14:00

場 所 | 企画展示室 | 講 師 | 当館学芸員
観覧料 | 無料(要入館料)

二川宿本陣のお正月 12.20(土)~1.12(月)祝

破魔矢やちりめん作家豊田恵子さんの七草のつるし飾りを展示します。

正月に舞う飽海人形浄瑠璃in二川宿本陣

1.4(日) 13:30-14:00

出 演 | 吉田文案保存会 | 演 目 | 二人三番叟
観覧料 | 無料(要入館料)

いいところ発見!とよはしカルタ大会

1.10(土) ①9:30-10:30 ②11:00-12:00 ③14:00-15:00

対 象 | ①年少~年長児 ②小学年(小学生以下保護者同伴)
③シニア65歳以上

定 員 | 各回15名(申込順) | 参加料 | 無料

その他 | 参加者には「とよはしカルタ」をプレゼント

申込み | 12月6日(土)10:00から電話にて

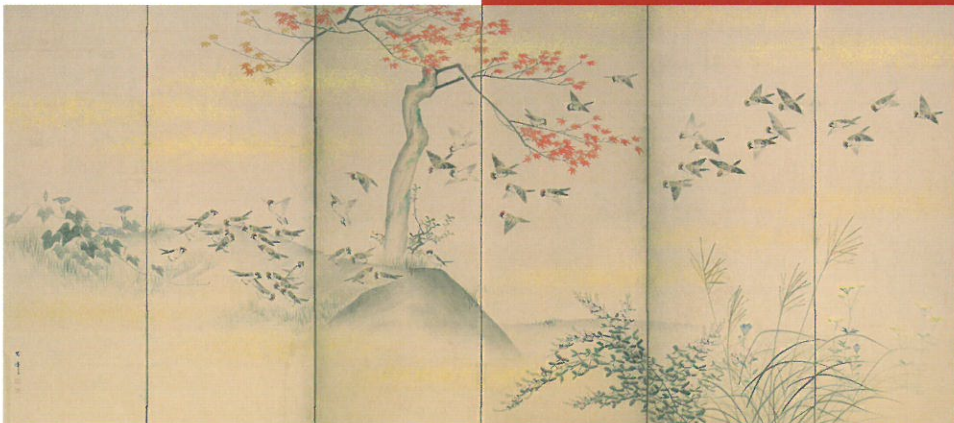
6



写真/●福田文笠《鶴朝顔図》(部分)江戸時代後期③/●尾形洞霄《鶴図》1843③/●恩田石峰《あけびに猿図》(部分)江戸時代後期③/●歌川芳能《メのうさぎ当寄合》1873③/●渡辺小華《沙園九友図》(部分)1874③/●原田圭岳《秋草に鹿図》(部分)1877③/●恩田石峰《群雀図屏風》(左隻)江戸時代後期③

③: 豊橋市美術博物館蔵 ④: 豊橋市二川宿本陣資料館蔵 ⑤: 個人蔵

7



441-3155 豊橋市二川町字中町65
TEL.0532-41-8580 <https://futagawa-honjin.jp>

豊橋市二川宿本陣資料館